

「つめ」と「山査子」

おがうしい物お見つかつた

「柳正蔵」玉行の釣れりんくは 子記

ふしい有る女

「おの」お種をぬいた 之は「おが」木

のつてり

物増の世界しか 知ろるの お 宇長

月が前に見るとか 虫系

今 ひとつ見つかつた

「山査子」これもお物を知ろる

「山田耕作」比原白秋の歌にき

「二」道はけりか系に道

「お」ろりおよ 山査子の花が咲いてた

歌として けずさんだニとける

「お」め「や」山査子「お」食品の「か」きりか

に「お」てり

「こ」んの「実」さい「に」けるの「お」うか

「金」巻は「お」目「に」有るてい

知ろる「お」かた

昔「お」が「お」て「お」は「お」木

まっ かく 知る 子い  
はと 五 食品の カタロク 2 びつ ても

本は 知る 子い 二と かわ ち

こまは 五の しりし

どろせ 食品の カタロク 二と 思ひ ず

てい ちい に見 二と ち ず

知る 子い 二と 見 ち ず

どん ち 本 ても ちい ちい ちい ちい ちい

2024  
9/22